

芸術鑑賞教室感想文

声優さんのすごさを感じました。声からすごく感情が伝わってきて、ラブレターでは少し泣きそうになってしまいました。一人でいろんなキャラを演じているのに、誰がしゃべっているのか分かりました。そこもまたすごいと感じました。

今回初めて朗読劇を鑑賞しました。幸福の王子は何度か読んだことがあったのですが、自分で文字を追うのと、劇になった話を鑑賞するのでは、全然雰囲気が違って新鮮でした。ラブレターは初めて聞いた話でした。これも文字で追うのとは違い、効果音も加わって、情景が目の前に浮かんでくるようでした。本の作品も読んでみたいです。

私が一番に思ったことは声だけでこんなに感情や物語を思い浮かべることができるなんてすごいということでした。「幸福の王子」の話は絵本で読んだことがあったのですが、声だけでの表現力におどろき、最後は感動して泣いてしまうほど、とても良かったです。「ラブレター」では「幸福の王子」より声だけでの表現ではなく効果音や動きの表現が多く、またちがう感じで鑑賞できました。また、演じる人が1～3人で物語を表現しすすめることができることにも驚きました。もう一度朗読劇をみてみたいです。

私は朗読劇を初めて観ました。キャストの朗読の仕方によって、いろんな感情を入れていたので、本当の物語を絵画で観ている感じがしました。また、効果音を入れることで、私達は物語に引き込まれるような感じでワクワクしました。

朗読でたくさんの人に伝えるのとても難しいことですが、キャストの朗読は読む強弱や顔の表情をつけていて、観ている私たちに物語を想像しやすい工夫がされていたので、とても楽しむことができました。

セリフの時に声を変えたりしていて、とても聞きやすかったです。あんなにスラスラ読めて、しかも淡々と文字を読むだけでなく、感情を込めて読めて凄いなと思いました。ツバメが死んでしまうときに、読み手の方も王子の足下にしゃがみこむとは思わなかったです。

2つめの話は、まず始めにすごく読み手の方と合っていると感じました。歌舞伎町の雰囲気が背景の音とかで感じやすく、その場面が頭に浮かびました。セリフの読み方が一役一役違い、一種のドラマのようでした。

語り手さんの語り方が力強かった。語り方がとても上手ですごいと思った。そして言葉選びも上手だった。語り手さんの一言一言に強い感情が感じられた。まるでその場面にいるかのように思えて、本当にすごかった。全身を使って語っていてすごいと思ったし、憧れた。

最後に登場した男の人、イケメン感すごかった（笑）。劇ではないのに、聞いている人を魅了させるような語りでした。

一人の人が何役も声色を変えて演じているのがとてもすごいと思いました。声が違うだけで別の人のセリフだと分かるのは、熟練された技術があるからだと思います。

物語は少し切ない感じで感動しました。声と音楽だけでも情景が浮かんできて、感情移入できました。声だけで表現する技術に感動したので、また機会があったら観に行ってみたいです。

ひとつひとつの言葉を聞くたびにその場の光景が見えてくるようでした。声がとても透き通っていてとても心がやすまりました。特に「ラブレター」の話には感情が込められていて印象的でした。

まず声を聞いて、それぞれの役にあった口調や声色があったり、そのセリフにあった声量や感情がセリフに込められており、そのおかげで物語の内容がずっと頭に入ってきてとても聞きやすかった。アニメやマンガなどは絵と一緒に物語が進行するがこの劇では役者はほとんど動かず声だけでこんなにも表現できるのは驚いた。言葉の重要性や表現の幅がとても広いということを改めて実感することができた。このような劇なら目の不自由な方にも楽しんでもらえると思った。最後に役者が全員でできたときに4人という少なさに驚いた。

とても楽しく思わず聞き入ってしまいました。自分は普段ラジオなどでこういった朗読などをよく聞いたりしますが、目をつぶっていても情景が頭の中に浮かび上がってくる声優さんの力はすごいとあらためて思いました。今日、目の前で生でプロの朗読を聞く機会をいただきとてもうれしく思いました。2つともどっちも感動してしまいました。

読み方、読んでいるときの声量、視線など聞いている人が目だけでなく、耳でも楽しめる工夫がされていると感じました。

自分の知っている作品「幸福の王子」が語られるのは少し嬉しかったです。声だけの演技なのに風景が思い浮かべられて、皆さんの演技の凄さを思い知りました。物語に声をのせると、ここまで深みが出るのかと思いました。

「ラブレター」は、ほぼ一人芝居のような感じで驚きました。白蘭さんだけ女性の方の演技でしたが、ほとんど全てを一人で演じられていて、口調や声のトーンで本当に別の人物がいるような感じがしました。語りもそこそこ多いので、より情景が浮かんできて、見えて楽しかったです。切ない話が好きなので、またこういう話をみたいと思いました。

声だけなのに心を動かすステキな声でした。最初の話はめちゃくちゃきゅんきゅんして、終わり方が切なくて泣きそうになりました。R160 ゼミに入ってから、初めてこのような会を見て、心動かされ、演劇をこれからする者にとって良い体験になりました。いつか今日来てくれた方のように演劇と深く関わるようになりたいなあ、って思いました。1人の声だけで何人もの役が作れてすごいと思った。

声だけなのに、とても感情がこもっていて、すごいと思いました。人間と動物はぜんぜん違うのに、自分のキャラクターに合わせて声や感情を乗せるのはすごく難しいことだろうなと思いました。

演技もとても上手で、目をつむって開くと、何も引っかけからずすうーっと入ってくるのですごいと思いました。少し朗読劇に興味がわきました。

朗読でしたが、頭の中にちゃんとストーリーがうかび、ツバメと王子の優しさにとても感動しました。体と声で表現する劇と違い、声の強弱の速さ、声の高さや低さでストーリーを演じるので、頭の中でそのストーリーを自分なりに想像できストーリー内容に本当に感動しました。途中から目をつぶって集中している自分がいました。

幸福の王子とツバメがみんなのために尽くしたのに、市長さんなどは、彼らをむげに扱っていて悲しかったけれど、最後はきちんと神様には認められいて、幸せになれてよかった。

ラブレターでは、たとえやくざでも普通の人の子としての優しさがあるんだなと思った。朗読が、一語一句しっかりと気持ちがこもっていてすごかった。

私は、初めて朗読劇を見て今までにない感覚体験を味わえました。「幸福の王子」の物語を鑑賞し、自分の感性と想像力を磨けたと思います。

そして、「ラブレター」では、一人の人が複数の役を演じていて、息づかいや特徴など異なり、すごいなと思いました。役者さんと音響さんのタイミングがとても良く、改めて、チームで協力し合う大切さを感じました。

もう一度、鑑賞したいです。

私は芸術鑑賞教室を受けて、まず最初に、声に感動しました。言葉に表せないくらいの綺麗さで…。『幸福の王子』は読んだことがなくて、今日初めてだったんですが、とても印象に残りました。「私はこんなに優しい心を持っているかな」と考えてしまいました。『ラブレター』は私には難しいなと…でも男性の方の声が1人から出ているとは思えないくらいすごかったです。今度本を探して読んでみようと思います。初めての朗読劇、とてもいい経験でした。

僕たちのためにすばらしい朗読劇を開いて頂きありがとうございました。「幸福の王子」は絵本で読んだことがあったので、どういう話か知っていましたが聞き入ってしまいました。「ラブレター」では1人で多くの役をやっていてすごいと思いました。目を閉じなくても声を聞くだけで簡単に場所を想像させることができる演技力には心打たれるものがありました。

読み聞かせとはまた違って迫力を感じました。声だけで想像の世界を見せてもらい、演劇など全身をつかって見せるものとは違う良さを強く感じました。

自分は普段演劇しかやったことがなく、朗読劇は軽く知っている程度ででしたが、初めて聞いてみて、演劇とは違った劇の仕方で、演劇をおこなううえでの参考になりました。キャラをつくった読み方、登場の仕方などを見習いたいと思いました。今年も感情表現など勉強になり、とても面白かったです。来年の最後の芸術鑑賞会も楽しみにしています。

「ラブレター」を聞いて、登場人物の気持ちや迫力、物語でとても感動して、うるってきました。この迫力を二人で演じていてとてもすごいと思いました。「幸福の王子」を聞いて、王子の優しさ、ツバメのやさしさを感じられて良かったです。この朗読劇でいろいろ考えさせられました。

最初のお話は知っていたけれど、改めて聞いて、やっぱり良いお話だなと感動しました。映像を見たりするのではなく、朗読を聞いて、自分で状況を想像しながら聞くのもおもしろいなと思いました。

つばめ、幸福の王子が共に過ごして最期を迎えるということが、声優さんの朗読から伝わってきました。読み方、伝え方の違いで、ここまで変わるのかと感動しました。人の死と尊さ、残酷な世界で過ごした人々の気持ちを悟った五郎さんの気持ちが伝わって来ました。そんな、死は軽くないのにな……と思い知らされました。

昨年に続いてすばらしいものを見せていただきました。

私は朗読劇を初めて見ました。ナレーションと自分の担当の役を、それぞれのキャラクターに合わせて強弱や声の大きさ・高さを変えて読んでいて、朗読のすごさを身をもって感じました。私は朗読で話を聞いているだけなのに、その話の内容やその人物を想像することができました。それほど読む方が上手で、顔の表情も話に合わせて変えていて、すごいなと思いました。朗読しているだけで聞いている人たちを圧倒するなんて、相当練習しないとできないことだなと思いました。

今日は朗読劇の良さをすごく感じました。ありがとうございました。

物語はとても良かったです。また、映画に映る感じでした。なぜなら、音楽や3人の話し手がとてもうまかったからです。また、「ツバメが死の家に行きます」という所が悲しいと思いました。だが、そのあと、つばめは歌い続けることでいい話でした。3人だけでいい物語ができるとは思っていませんでした。1人でいろいろなことができることに憧れました。この物語はとても良かったです。

絵や人で表現されない朗読なので、自分で想像しながら話を聞きました。とても楽しかったです。良い体験ができました。